

1. 予想される災害について

メゾンふじのき台団地で想定される災害には、地震・台風・雷・大雪・火事・洪水・大規模停電・伝染病・テロなどが考えられます。場合によっては複合的に発生する可能性も有ります。これらのほとんどは各世帯で対策を準備しておけば乗り越えることが出来ますが、共同で準備をしておくべきなのが「地震」です。

2. 大地震に備えましょう

メゾンふじのき台団地は、平成元年に建てられた鉄筋コンクリート造の建物です。現在の建築基準法で規定されている耐震性（震度6強で倒壊しない）を有する設計が行われています。しかしながら、将来発生すると思われる大地震が、予想されているよりも大きくて建物に大きな被害が発生する可能性もあるため、下記に記載の通り、日頃の準備をしておくこと、地震発生後の行動について確認しておくことが必要です。

・地域の認識

横浜市としては、当団地は大地震が発生した場合にも被害が軽微であると想定されるため、大地震後に避難所へ移動するのではなく、自宅に滞在する計画となっています。よって、地域防災拠点である茅ヶ崎台小学校に避難受入れを想定している人数に考慮されていません。つきましては、大地震が発生してから通常の生活に戻るまで、自宅で過ごすことが基本であることを認識しておいてください。

メゾンふじのき台には集会所が有りますが、JS（日本総合住生活）が所有・管理しているものです。大地震の発生が営業時間外の場合は使えませんし、そこに避難し続けることは出来ません。コロナウィルス感染症の対策が必要な為、一時滞在出来る人数にも制限が有ります。また、集会所の倉庫には自治会で購入した食料と水が少しだけ有りますが、緊急時の補助的なものですので、配布は出来ない・されないものと考えてください。

・避難場所について

大地震により建物が大きな被害を受けた際に避難する場所として、下記の場所が有ります。それぞれの場所に関しての詳しい情報は横浜市のパンフレット等を参照してください。どこに有るのか、どのように行くのかも一度は確認してください。

- ・なわとび広場（メゾンふじのき台の駅側） → いっとき避難場所
- ・茅ヶ崎台小学校 → 地域防災拠点
- ・葛が谷公園 → 広域避難場所

・日頃の準備

自宅で過ごすことが基本となりますので、大地震が発生しても安心して暮らせるように、背の高い棚などの転倒防止、シャンデリア等の落下防止など、家具の耐震対策を必ず実施してください。液晶テレビが落下した場合にはガラスの破片が飛散してしまいますので、倒れるかどうかだけでなく、何が起きるのかを考えながら対策を行ってください。

大地震が発生した時には、食料や水を入手することが難しくなります。地域防災拠点である茅ヶ崎台小学校に支援物資が届き始めるまでに3日程度必要だと言われているので、それを目安に準備しておいてください。

3. 大地震（震度5強以上）が発生した時には

①身の安全を図る

②家族・同居者の安全を確認

安否確認マグネットを玄関外に提示してください。マグネットが無い場合はタオルを玄関外のハンドルに吊り下げてください。タオルが下げて有る場合は無事であると判断します。マグネット・タオルのどちらも掲示されていない場合は、救助・応援が必要と判断します。



③傾いた家具やガラスの破片等、怪我をしそうなものが無いか確認

④自宅の玄関や廊下、階段の状況を確認する

⑤自宅に留まるか、避難するかを判断する

自宅に留まる場合は、周囲が落ち着いたら、震災対策本部（なわとび広場）で情報収集をする

以降、避難する場合

⑥分電盤のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める

不在中に通電し、火災が発生しないようにする為

⑦必要なものを準備する

⑧戸締りをする。貴重品は持ち出す。

⑨震災対策本部（なわとび広場）に避難先等を伝える

4. 震災対策本部（なわとび広場）

メゾンふじのき台自治会で震災対策本部を設けます。

住民の状況を確認し、行政との相談窓口となります。

住民の状況把握をする必要が有るので、安否や避難先の連絡をお願いします。

5. 防災計画の啓蒙

・MGCRS 合同防災訓練

毎年6月にMGCRS 合同の防災訓練を実施しています。避難点呼訓練の他、防災イベントを実施していますので、積極的に参加してください。

点呼訓練の際に使用しているマグネットを持っていない方は自治会に申し出てください。



・要援護者名簿作成

災害発生時に、援護が必要な高齢者・若年者の方の名簿を作成しています。自治会の常任委員が安否や援護の要否を確認しに伺う体制を作っています。常任委員だけでは手が足りない場合は協力をお願いします。

・ご近所のきずな

災害発生時には日頃の近所付き合いが大きな力になります。少なくとも挨拶程度は交わしておきましょう。

以上

■■参考■■

・地震後にエレベーターが使えないかも

大地震が起きた場合には、エレベーターは自動停止機構になっています。安全点検をしてから動かすこととなりますが、地域全体で数多くのエレベーターが停止してしまうと、点検業者の巡回に時間がかかるので、数日間停止したままになってしまう可能性が有ります。しばらくの間使えないかもしれないことを考えておいてください。

・地震による停電が起きるかも

大地震で長時間にわたる停電が発生する可能性が有ります。夜間の照明が無いことだけではなく、冷房や暖房が使えない場合のことも考えておいてください。

・地震により断水するかも

水道局のポンプが地震や地震による停電で動かなくなった場合、断水が発生します。水が出なくなると、台所だけではなく、トイレや風呂も使えなくなります。

・自宅でのトイレの確保が重要

過去の震災では自宅のトイレが使えなくなった例が多く、集会所などのトイレは非常に混み合う。深夜でも1時間程度待つ場合なども有る。行きたくても待たなければならないとなると、余計に行きたくなり、とても苦しい思いをする。高層に住む方は特に考えておくべき。

→簡易トイレが売っているので購入しておくこと。今は色々な種類のものが売られており、便利になっている。複数回使えるものも有るが、1回で捨てたくなるような製品もある。多めに準備しておくこと。

→臭いがするので、ビニール袋を二重にして保管することになる。最近お店でもらえないので、手元に無くなっているはず。多めに準備しておくべき。ごみの回収が始まるまで一週間程度かかる可能性がある。

・嗜好品の準備も忘れずに

我慢せざるを得ないことが多くなるので、嗜好品も保管しておくこと。

コーヒーやたばこなど、普段は簡単に手に入るものが買えなくなるので、いらいらしがちになる。

・栄養状態の悪化にも備えよう

非常食が続くと栄養が偏る。その結果、食欲が無くなったり、胃腸が悪くなったりする。

消化しやすいもの、ビタミン剤のようなものも有ると良い。

爪や皮膚が荒れてくるので、クリーム等も有ると良い。